

# CHIBA 赤十字 NOW

2024

Vol. 66



【特集】

令和6年能登半島地震の活動報告

発行所/日本赤十字社千葉県支部 〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7  
TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812  
<https://www.chiba.jrc.or.jp/>

 日本赤十字社 千葉県支部  
Japanese Red Cross Society

赤十字活動へのご寄付はこちらから→





赤十字は動いている!

# 能登半島地震の活動報告



令和6年1月1日16時10分、石川県能登地方を震源とした最大震度7に及ぶ大規模な地震発生から約3カ月が経過しましたが、現在も赤十字では支援活動を続けています。

## 赤十字の支援活動

千葉県支部では、今回の災害に対し**日赤災害医療コーディネートチーム**や**医療救護班**、**こころのケア班**や**被災医療機関支援のために看護師**を被災地に派遣しています。

### 日赤災害医療 コーディネートチーム

被災地の保健医療ニーズを把握し、都道府県保健医療調整本部の災害医療コーディネーター等との協議・調整を行うとともに、救護班の活動に関して医療救護の専門的観点から活動の調整を行います。(基本構成:医師、看護師、薬剤師、事務職員等の計4人)



救護班から活動報告を受ける  
コーディネートチーム

### 医療救護班

一人でも多くの人命を救助するため、被災地の医療機関の機能が回復するまでの空白を埋める役割を果たします。主に、救護所(臨時的診療所)での診療や避難所等への巡回診療を行います。

医療救護班は原則として、医師を班長とする6名(医師1名、看護師3名、主事2名 ※千葉県支部では薬剤師1名を追加した計7名)を1班として編成し、医薬品や医療資機材のみならず、班員の水、食料、寝具等も持参し、自己完結型の医療救護活動を展開する医療チームです。



珠洲市内の避難所に巡回診療を行う  
成田赤十字病院の医師・看護師

### こころのケア班

研修により必要な知識や技術を身に付けたこころのケア要員が、避難所や地域を巡回しながら被災者の方々と接する中で、健康や身近な悩みなどをお聞きし、力になれるように心理社会的支援を行います。必要に応じて、専門的な支援への橋渡しを行うことも重要な役割となります。



被災者だけでなく支援者の支援として被災した自治体職員の手や肩をもみ、こころのケアを行う成田赤十字病院の看護師

### 看護師派遣

被災した医療機関を支援するため、看護師を派遣しています。



市立輪島病院にてインフルエンザや新型コロナウイルスの検査を行う  
成田赤十字病院の看護師 ▶



## 発災後の千葉県支部の動き

### 1月1日 16時10分 地震発生

発災直後に職員が支部に参集し、被災状況や医療ニーズなどの情報収集を行う。また、成田赤十字病院に医療救護班の待機準備を要請する。

### 1月4日～義援金受付開始

### 1月8日～医療救護班等の被災地派遣

**コーディネートチーム** 第1チーム 1月8日～1月12日(珠洲市)  
第2チーム 2月18日～2月25日(珠洲市)

**コーディネートスタッフ** 1名 2月19日～2月25日(石川県庁)

**医療救護班** 第1班 1月15日～1月19日(珠洲市)  
第2班 1月27日～2月1日(珠洲市)  
第3班 2月4日～2月9日(珠洲市)

**看護師派遣** 1名 2月11日～2月17日(輪島市)

**こころのケア班** 第1班 2月27日～3月4日(七尾市)

※日赤全体としては1月2日から医療救護班を被災地に派遣し、救護活動を開始しています。

※被災地での救護活動が継続的かつ絶え間なく行えるよう、全国の赤十字医療救護班の支援体制を計画的に構築し、被災地に派遣しています。



医療救護班が活動したすずなり救護所

**今後も赤十字は被災地支援活動を続けていきます。**

## 被災地に派遣された医療救護班の声

被災地は建物が崩壊し、道が寸断され車で移動するのも困難な環境で、報道で伝えられていた以上に大変な状況でした。

水やガスなどライフラインがストップし、地域の医療もままならない中で私たちにできることはいち早く被災者の方のもとに向かいニーズに応じた医療救護活動を行うことです。

各避難所や救護所(臨時的診療所)での活動では医療が必要とされていると感じる場面が多く、微力ながら求められているものに応えることができた実感するとともに赤十字として、医療救護班としての役割の重要性を再認識しました。

また、派遣時期は1月中旬から2月で時折雪が降る寒い時期でしたので、私たち自身も活動中に体調を崩さないように意識していました。

地震発生から時間がたった今でも、被災地では依然として避難生活を余儀なくされている方々がたくさんいますが、そうした被災者の方々に寄り添いながら今後も支援を続けていきたいと思っています。



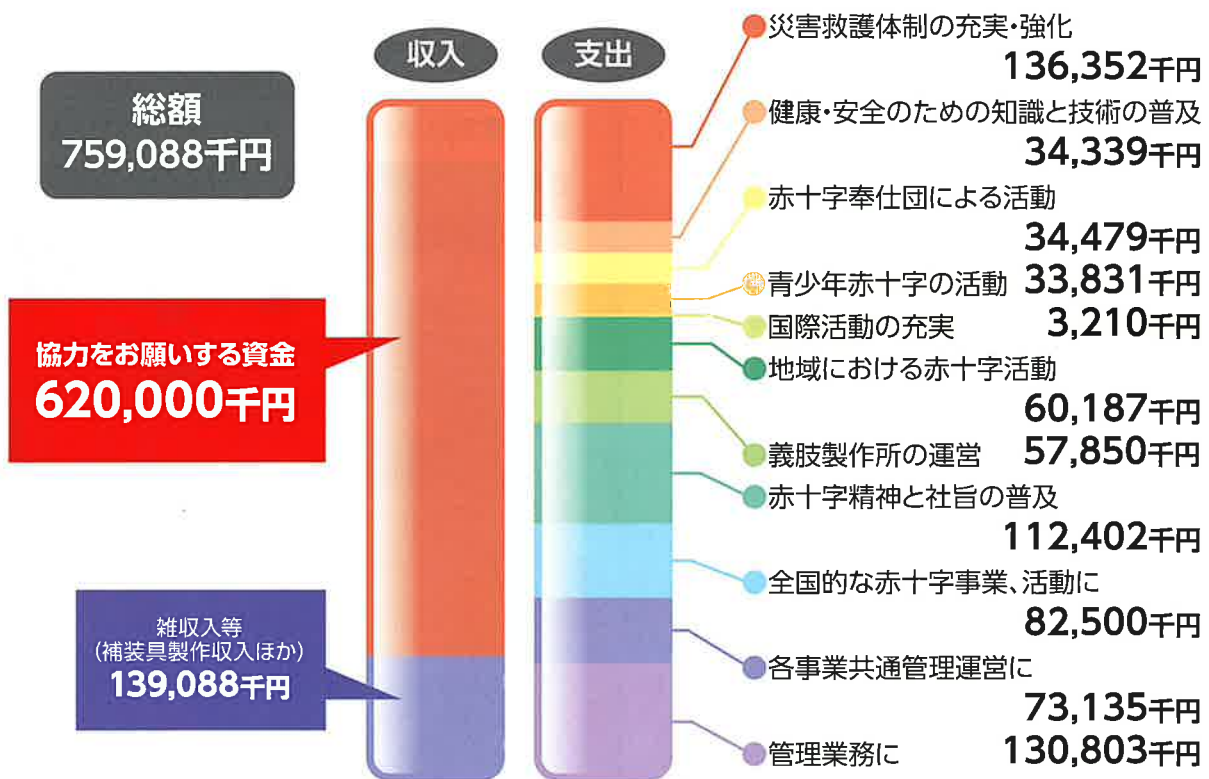


# ＋ あなたも赤十字サポーターに！

赤十字は、公的資金を使わずに活動することによって、  
 国などから独立し、公平・中立の立場で人道的活動を行うことができます。  
 千葉県支部では、災害救護をはじめ、救急法などの講習普及など、  
 人間のいのちと健康を守るため、幅広い活動を行なっています。

**皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。**

## 活動資金の使いみち(令和6年度予算)

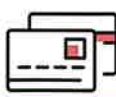


### 活動資金のご協力方法

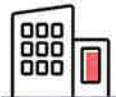
毎年5月・6月に行われる赤十字運動月間中に、町内会・自治会、赤十字奉仕団などの皆さまにご支援をいただきご協力をお願いをしているほか、年間を通じて以下の方法でもご協力いただけます。



インターネットで



金融機関、郵便局・  
ゆうちょ銀行で



お近くの  
赤十字窓口で

※ご協力方法の詳細は当支部ホームページでご案内しています。



**寄付のお問い合わせ・お申し込み先**

日本赤十字社千葉県支部 振興課  
 TEL 043-241-7531 (代表)

### 税制上の優遇措置

赤十字活動資金にご協力いただくと、次の税制上の優遇措置を受けられます。

#### 個人に対する税制上の優遇措置

優遇区分	措置の内容等
所得税 (所得控除)	寄付金の全額(ただし、上限は寄付者の年間所得総額の40%まで)から2,000円を差し引いた額が、寄付者の年間所得総額から控除されます。
相続税 (非課税)	相続により取得した財産(全部または一部)を寄付した場合、寄付した相続財産の額が相続財産から除外されます。

#### 法人に対する税制上の優遇措置

優遇区分	措置の内容等
法人税	通常の寄付金の損金算入限度額とあわせて、別枠で算出した特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額を損金に算入することができます。

# 自分と大切な人のいのちを守る講習会



「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命に基づき、「救急法」「水上安全法」「幼児安全法」「健康生活支援講習」を通じて、救命・健康・安全意識に関する知識・技術の普及を行っております。大切ないのちと健康をまもるため、皆さまのご参加お待ちしております。

## 救急法

日常生活における事故防止や手当の基本、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AED(自動体外式除細動器)を用いた電気ショック、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得などを習得できます。



## 水上安全法

水を活用して健康の増進を図り、水の事故から人命を守るための知識や技術を学び、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などを習得できます。



## 幼児安全法

子どもを大切に育てるために、乳幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当などを習得できます。



## 健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や高齢者の自立と支援に役立つ講習です。



講習会のお申し込みはこちら

令和6年度の  
申込受付  
はじまりました



お問い合わせ先

日本赤十字社千葉県支部 救護福祉課  
TEL 043-241-7531(代表)



## 赤十字奉仕団100名が 集結した街頭募金

2月8日(木)と17日(土)に千葉駅前において、千葉県赤十字奉仕団による街頭募金を行いました。この街頭募金は、令和6年能登半島地震で被災された方々を支援するため、千葉県赤十字奉仕団が主催したもので、市区町村の赤十字奉仕団と特別奉仕団から100名以上の奉仕団員が集まり、一丸となって募金への協力を呼びかけました。2日間あわせて1,378,748円の義援金をお寄せいただきました。

募金にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。お預かりした義援金は、全額を義援金配分委員会へお送りし、市町村等の自治体を通じて、被災地の方々の生活支援に役立たせていただきます。



奉仕団が一丸となって行った街頭募金

## 銚子地方気象台と協力 防災イベントを開催

3月10日(日)イオンモール幕張新都心にて開催した防災イベント「まなぼうさい」には、総勢162名の家族が参加しました。

銚子地方気象台による防災クイズや千葉県支部による家具安全対策ゲームを通し、家族みんなで協力し、防災やお家の安全について今一度考えてもらいました。

参加した子どもからは「わかりやすくてたのしかった」、保護者からは「非常時の備えや対応について家族で話すきっかけになった」といった声がありました。

千葉県で地震が続いていることもあり、クイズやゲームを楽しみつつも、真剣な表情で参加するご家族が多かったです。



防災クイズに積極的に参加してくれた子どもたち

### 活動資金 協力企業 (団体)の ご紹介

日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。赤十字のサポーターとして、活動を支えていただく「大きな力」となっています。ご協力、誠にありがとうございました。

※ 令和5年度第3四半期に千葉県支部へ直接10万円以上のご寄付をお寄せいただき、掲載をご了解いただいた法人(団体)のお名前をご紹介します。なお、千葉県支部ホームページにおいてもご紹介しています。(敬称略・五十音順)

一般社団法人 千葉県薬剤師会(千葉市中央区)  
米屋産業株式会社(成田市)  
日本基幹産業労働組合連合 千葉県本部(君津市)  
萬味商事株式会社(柏市)  
株式会社 松戸萬味(松戸市)  
株式会社 成田萬味(成田市)  
株式会社 三浩総産(船橋市)  
有限会社 エヌテック(千葉市美浜区)

かすみメンテナンス株式会社(松戸市)  
有限会社 エフルジャパン(東京都荒川区)  
株式会社 鶴亀吉祥(船橋市)  
株式会社 千葉銀行(千葉市中央区)  
有限会社 房州リサイクル(館山市)  
株式会社 日産フィナンシャルサービス(千葉市美浜区)  
「小さな親切」運動ちばぎん支部(千葉市中央区)